

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明		
家計動向 関連  (東北)	良く なっている	コンビニ(店 長)	来客数の動き	・前年と比較して天候が悪く、来客数がやや前年を下回っている。それ以外にも消費マインドはデフレ傾向であり、実際の購買行動をみても単価の安いものに移行しつつある。		
		タクシー運転手	販売量の動き	・乗客が途切れることがないため、いつも同じような成績であり、良い状態である。		
家計動向 関連  (東北)	やや良く なっている	商店街(代表 者)	来客数の動き	・今年は空梅雨で雨が少なく天候が良いため、来客数の良い状態が6月から続いている。人の動きが良く、気温が上がるにつれて、ピヤガーデンなどが非常に好調に推移している。		
		百貨店(営業担 当)	販売量の動き	・一時期売上が減少していた高額商材の動きが戻りつつある。婦人服もクリアランスを中心に堅調に推移しており、やや回復の兆しがみえる。また、中元商戦も好調であり、月計では売上が前年を上回っている。特に客単価の上昇が顕著である。		
		百貨店(買付担 当)	お客様の様子	・衣料品のクリアランスが好調である。来客数に変化はないが、ここ数年あまりなかったセール品のまとめ買いが目立っている。		
		コンビニ(店 長)	来客数の動き	・最盛期であるため、来客数、売上共に良い状態である。		
		衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・消費税増税の再延期の影響もあり、前年と比較して来客数が順調に伸びている。		
		衣料品専門店 (店長)	お客様の様子	・セールに入ってから好調に推移しており、来客数及び買上点数が伸びている。消費者もセールを待っていた様子であるが、今後につながるかどうかは不透明である。		
		乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・販売停止になっていた軽自動車販売再開となり、新車販売台数が増加に転じている。		
		乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・軽自動車の販売が再開されたため、多少は良くなっている。		
		住関連専門店 (経営者)	お客様の様子	・8月のお盆を前に、仏壇を購入したいという問い合わせが増えている。一部は販売にも結びついているため、売上がやや増加している。		
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・前年からずっと来客数の前年比が下がっていたが、6月から少しずつ良くなってきている。7月もその状態を維持している。		
		都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・3か月前と比べて、レストランなどの個人消費が徐々に増えてきている。		
		旅行代理店(店 長)	お客様の様子	・原油安や、英国のEU離脱問題に端を発した円高基調などが原因で、長らく不振であった海外旅行に復調の気配がみられている。		
		旅行代理店(店 長)	販売量の動き	・熊本地震の風評被害は落ち着いてきており、航空券の購入などもほぼ前年並にまで回復している。		
		家計動向 関連  (東北)	変わらない	商店街(代表 者)	販売量の動き	・現在は好景気ではないが、決して不景気でもない。問題は、この不思議な静けさが持続するのにかかっている。消費者は、将来このまま安定するかどうかが見通せないことから、不安を感じているのではない。
				商店街(代表 者)	来客数の動き	・街に人が歩いていない。商店街が無くなったかのようである。
商店街(代表 者)	お客様の様子			・消費税増税の再延期が決定し、駆け込み需要などの消費意欲が減少している。		
一般小売店[書 籍](経営者)	単価の動き			・全体的な消費マインドは冷え込んだままである。セール期間とそうでない期間の差が相変わらず激しく、景気が良くなっているとはいえない。		
一般小売店[医 薬品](経営 者)	販売量の動き			・人口減少に伴い、毎月少しずつ来客数が減少しているが、販売量の動きはそれほど悪くない。プレミアム付商品券のあった前年と比較すれば多少落ち込んでいるものの、例年の7月と比べれば良い状態である。		
一般小売店[カ メラ](店長)	販売量の動き			・販売量は横ばいで推移しているものの、高額商材の動きが鈍く、売上が伸びない状態が続いている。		
百貨店(売場主 任)	単価の動き			・来客数の微減が続いているが、何よりも単価の下落傾向が顕著である。帽子や日傘など一部の季節商材に活発な動きがみられるものの、値下げのタイミングを計りながら、他店と比較、吟味をしてから購入しようとする姿勢に変化はない。		

百貨店（総務担当）	お客様の様子	・クリアランスにおける客の買物の仕方が変化しており、まとめ買いをする客が少なくなっている。かなりの吟味をして買上点数を絞って購入している。
百貨店（営業担当）	お客様の様子	・首都圏では景気の回復が見受けられるようであるが、地方では個人所得が増える期待が薄く、更に労働人口の減少が予想以上に進んでいる。食料品の物価上昇もあり、客の消費動向からは節約傾向がうかがえる。
百貨店（経営者）	販売量の動き	・中元商戦、夏のセール商戦も微減となっている。ただし、セールのスタート時は季節商材が活発に動いており、消費者の価格に対するシビアな見方が顕著に表れている。また、お中元は客の高齢化とともに、依然として前年からのマイナスが続いている。
スーパー（経営者）	来客数の動き	・既存店の来客数は微減している。梅雨が明けたものの、暑さが足りず夏物が不振である。
スーパー（経営者）	単価の動き	・7月の平均単価は前年比3%のマイナスとなっている。また、買上点数は前年並みであり、既存店来客数も前年を若干下回っている。消費環境の厳しさが顕在化してきているようにみえる。
スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数が多い傾向にある水曜日に雨が多く、その影響により来客数が減少している。
スーパー（店長）	販売量の動き	・6月は前年と比較して売上を5.5%伸ばし、7月も前年比2.9%増と多少なりとも売上を伸ばしており、良い状態が継続している。
スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数の動きに変化はない。
スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数は前年を若干上回っているものの、客単価が減少しているため、売上は前年を少し下回っている。
スーパー（営業担当）	販売量の動き	・6月の既存店の前年比は99.8%、客単価101%である。また、3月から今月までの累計では売上は100.1%となっており、数値に大きな変化はない。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数は若干増えたものの、客単価が減少しているため、トータルとしては前年比100%を維持している。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・気温や天候が好転しても、来客数に変化はない。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数の増加傾向が鈍化しており、景気に停滞感が見られている。
コンビニ（店長）	お客様の様子	・売上は横ばいで推移している。新規の取引はあるものの、既存の取引がやや減少しており、予断を許さない状況である。
衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・中元商戦のシーズンである。企業関係の受注は前年よりも増加しているが、個人の受注が減少気味である。
衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・前年と比較して気温が低いことから、サマーフォーマルが全く動いていない。
衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・東北地方の各店舗では、来客数が1割減の状態であり、買上点数も同様である。消費者の購買意欲が低迷している。
家電量販店（店長）	販売量の動き	・例年より梅雨明けが遅く、気温が上がらないため季節商材の販売が遅れている。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・今月前半は暑さもありエアコンなどが動いたが、中盤は涼しかったため季節商材が売れずに前年比が約半分となっている。ただし、要因としては気候のみのため、他の商品の動きに変化はない。
住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・天候には恵まれたが、来客数が少なく街にもにぎわいが無い。客の財布のひもは一層固くなっている様子である。
その他専門店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・今月は少し落ち着いているものの、平日における飲食店の来客数は相変わらず低調で推移しており、今後もこの傾向は続くとみている。
その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・前年と比較して、特に生ビールの販売量の伸びが悪い。暑くなるのが早かったため、全体的に伸びるものと期待をしていたが、始まってみれば日によって販売量のばらつきが大きく、得意先によっても状況が大きく変化している。また、お中元の動きにも鈍さがみられている。
その他専門店〔靴〕（従業員）	販売量の動き	・気温が上がってきているが、子供用のサンダル以外の夏物商材が売れていない。動きの良かったスニーカーも動きが鈍くなってきており、早くも秋物を求める客がでてきている。

	その他専門店 [ガソリンスタンド] (営業担当)	販売量の動き	・除染事業が峠を越しており、軽油の需要が前年を下回っている。また、需要の減少により販売競争が激しくなっており、販売単価の下落を招いている。そのため、全体的に前年より燃料油全体の販売量が落ち込んできている。
	その他専門店 [ガソリンスタンド] (営業担当)	販売量の動き	・大きな変動要因もなく、販売量の前年割れが続いている。
	高級レストラン (経営者)	単価の動き	・あまり良くなる要素がない。天気も良くないし、客の財布のひもは固いままである。
	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・選挙の影響もあり、前年と比べて宿泊人数が少ない。
	観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・全体的な来客数の伸びに鈍さがみられている。
	都市型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・宿泊の稼働率と来客数は前年並みであるものの、観光客の数は前年を下回っている。新幹線の乗車率も前年並みのため、全体的にはにぎわっているように見えるが、宴会、レストランの利用にはつながっていない。
	旅行代理店 (経営者)	販売量の動き	・夏休みの需要は、前年同時期と同じように推移している。海外の情勢が不安定のため、国内にシフトしており、国内の需要がけん引している状態である。
	通信会社 (営業担当)	お客様の様子	・取引先の建設会社の話では、土木、建設の新規案件がなく、既存の保守などの売上でしのいでおり、社内の雰囲気良くない様子である。公共事業も低迷しており、先行きへの不安の声を聞いている。また、新規工事受注の先行きに見通しが立っていない。
	通信会社 (営業担当)	お客様の様子	・企業努力で増収になっているものの、販売量は増えていない。
	通信会社 (営業担当)	お客様の様子	・客の設備投資意欲に変化がみられない。
	通信会社 (営業担当)	お客様の様子	・顧客との話は、コスト削減の話にしかない。
	観光名所 (職員)	販売量の動き	・来客数の前年比は、小幅な変動を繰り返しながら横ばいで推移している。客の購買行動については、天候不順により気温が低いことで、アイスなどが伸びていない。
	観光名所 (職員)	来客数の動き	・長引いた梅雨の影響か、繁忙期となる夏休み期間に入っても来客数の少ない状態が続いている。
	遊園地 (経営者)	来客数の動き	・月の前半は梅雨の天候や参議院選もあり弱含んでいたが、後半はほど良い気温と少雨であったことと、日曜日が一回多いこともあって、来客数は前年を上回りつつある。
	美容室 (経営者)	来客数の動き	・来客数の前年比は、このところ同ようなマイナス幅で推移している。
	美容室 (経営者)	来客数の動き	・来客数を含めてあまり変化はない。客からもあまり良い話を聞かない。
	住宅販売会社 (経営者)	それ以外	・太陽光発電用地の需要は終息したが、小規模風力発電及びバイオマス発電用地の検索依頼が多く出てきており、行政側と協調しながら進めている。
やや悪くなっている	商店街 (代表者)	販売量の動き	・期待されたお中元セールも、来街客の減少により苦戦している。地下鉄の新規路線開通、駅及び周辺の商業環境拡充整備の影響が徐々に表れている。
	一般小売店 [酒] (経営者)	販売量の動き	・例年よりお中元商品の動きが悪い。
	一般小売店 [医薬品] (経営者)	来客数の動き	・来客数が大きく落ち込んでおり、この5年間でも最も少ない来客数となっている。春先から同様の傾向が続いており、明るい兆しがみえない。
	百貨店 (売場担当)	販売量の動き	・来客数が好調でありながら、客単価に上昇がみられていない。このような状況のなか、店舗の売上はなんとか前年に達したものの、婦人服売場は前年を下回っている。売場の来客数減少はもちろん、客の買物の仕方の変化、フリー客といわれる新客が全く増えない状況が影響している。また、顧客の買い方も慎重であり、買上点数の減少が目立っている。
	スーパー (店長)	単価の動き	・ここしばらくは客単価の下落が続いており、前年を上回ることができていない。

スーパー（営業担当）	販売量の動き	・夏に差し掛かると気温の変化が売上に大きく影響するが、今年は気温があまり上がらないため、来客数、販売点数、1品単価などすべての数値が下がっている。	
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数の前年比が3ポイント落ち込んでいる。また、気温が前年より低く、飲料、アイス、酒の販売量の減少が著しい。	
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・エリアによっては競争環境が激化しているため、全体的な景気はやや悪くなっている。	
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・サマーセールに入っても来客数は伸びていない。来店した客も購入には非常に慎重であり、買上率も減少している。	
その他専門店 〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	販売量の動き	・夏物商材の動きが鈍い。冬は暖冬により雪が少なく防寒着が動かなかった。その影響から春先も動きが悪く、そのまま夏に突入している。東北もやっと梅雨が明けて暑くなってきているが、お盆を過ぎれば急に涼しくなるため、夏物はほぼ終了といったところである。	
高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・ホテル全体で前年を大きく下回っており、なかでも料飲部門の下落幅の大きさが目立っている。賞与の時期でもあり、消費の活発化を期待していたが、予想を裏切られる形となっている。	
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・夏は売り時というイメージは年々薄れつつある。特に今年は来客数が少なく、大変厳しい状態が続いている。	
一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・夏休みになり、子や孫がいる客層は外での行動時間が日中になっている。そのため、アルコールも出る夜の部が手薄になっている。	
観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・同業者や商店などの話からも、客の動きの鈍さがみられている。	
観光型旅館（スタッフ）	単価の動き	・販売量は順調であるが、単価が下がっており利益が少ない状態である。前年にあった補助もなく周りの消費意欲が低下しているため、景気は後退している。	
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・個人客、法人共に予約数が減少している。また、来月以降の予約数も、前年同時期と比べて減少している。	
都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宿泊部門、レストラン部門は低迷しているものの、一般宴会部門でなんとかしのいでいる状況である。夏場は宴会受注も落ち込むため、その先の受注を増やすように努力している。	
都市型ホテル（スタッフ）	それ以外	・フリー客の減少傾向は薄れつつあるが、予約状況が芳しくない。先行きに不透明感を持っているのか、企業や個人客共に予約の進捗が大幅に遅れている状況である。	
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・海外情勢への不安要素が一層顕著に表れてきている。	
タクシー運転手	来客数の動き	・乗り控えが目立っている。特に年配者については、病院通いで利用が少なくなっている。	
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・ねぶた祭りを前に観光客が増えている。インバウンド客もこれまでになく増加しているが、その効果は見かけとはかけ離れており、地元経済の活性化はみられていない。特に今年は宿泊をせずに当地域を通過していく観光客が増えているため、地元にも思ったほどのお金が落ちていない状態である。	
競艇場（職員）	来客数の動き	・来客数が極端に減少している。ただし、売上は若干の減少程度である。	
その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	販売量の動き	・消費税増税の再延期により、追い風需要に代わるキャンペーンを企画したが、すぐには工事受注につながっていない。	
悪くなっている	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・参議院選のため、7月前半は深夜の繁華街に客が出てこないことは想定内であるが、選挙が終わった中盤以降、ボーナスが支給されてもほとんど人が街に出てこない状態である。そのため、来客数は前年比10%減となっており、非常に低迷している。
	スーパー（経営者）	お客様の様子	・デフレの様相を呈しているなかで、先行きの不安により、客の財布のひもが固くなっている。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・客の動線が変化したため、来客数が減少傾向のまま推移しており、それに伴い売上の減少も続いている。ただし、買上点数や買上単価は落ち着いているため、一般的な景気という意味では、まあまあである。

		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・今月は天候の不順もあり、客の動きが非常に悪い。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・消費税増税の再延期となったが、景気が良くなっていないこともあり、客は買物に慎重である。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・受注量が、前年比マイナス10%程度の落ち込みとなっている。
		住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・3か月前と比較して受注量、販売量共に減少しており、売上も減少している。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数の動きが悪く、2～3年前の同じ月と比べてもかなり落ち込んでいる。予約も少なく、忙しい日と暇な日の差がかなり激しい。
企業 動向 関連  (東北)	良くなっている	建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・直轄、補助事業共に公共事業などの出件が続いている。また、新年度になり発注された各種事業の受注者も確定してきている。
	やや良くなっている	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・自動車関連では新世代プラットフォームへの刷新により、数年先まで安定した受注が見込めている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・地方では公共工事も少なくなっている。また、景気の動向がはっきりしないため、建築を考えている人もちゅうちょしている様子である。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上の前年比は微増であるものの、順調に推移している。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・海産物の取扱が順調に推移している。
		金融業（広報担当）	受注量や販売量の動き	・前年と比較して、全体的に物量は増加している。特に、卸売業界においては優勝劣敗が一層明確になってきている。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・6月は中元商戦の出足が良かったが、7月は一週目に参議院選があったため落ち込んでいる。その後は多少盛り返したものの、前年には届いていない。
		食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・販売量の前年割れが続いている。
		木材木製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・住宅部材の需給バランスが悪く、価格改定が進んでいない。そのため、収益が改善されない状態が続いている。
		建設業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・手持ち工事の繁忙度の高い状態が続いている。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・顧客のなかには同業他社へ乗り換えるケースも出てきており、予断を許さない状況である。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・投資よりも経費削減に重きが置かれている。
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・民間工事の動きはそれなりにある。しかし、為替、株値の動きが大きく、投資家は慎重な姿勢である。
		広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・毎年実績がある案件が中止になるケースが多い。また、チラシも回数と同じでも部数が減少している。
経営コンサルタント		取引先の様子	・各地でバーゲンが始まっているものの、どこも盛り上がり欠けている様子である。	
司法書士		受注量や販売量の動き	・金利低下による住宅ローンの借換え需要が一段落している。	
公認会計士		取引先の様子	・建設関係は、売上の増加は見受けられないものの、利益を確保している企業が多い。小売業、サービス業は全体的に売上、利益共に減少傾向が強いが、3か月前と比較して大きな変化はない。	
その他非製造業 [飲食料品卸売業]（経営者）		取引先の様子	・繁華街における飲食店の状況が好転していない。	
その他企業 [企画業]（経営者）		取引先の様子	・得意先の量販店では、夏の賞与支給後にもかかわらず売上が計画に満たないと話している。卵などバーゲン品目当ての来店はあるものの、タイムサービス時間を過ぎると途端に客足が途絶えることが多い。飲料は売れるものの天候頼りという不安要素がある。	
やや悪くなっている	農林水産業（従業者）	受注量や販売量の動き	・ももの最盛期に入っているが、贈答用の注文が前年と比較して1割程度落ち込んでいる。	
	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・さくらんぼはやや豊作であったが、価格の低迷により、収入増にはつなげない。	
	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・7月は選挙があったため、観光客やお中元の動きが鈍っている。	
	出版・印刷・同関連産業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前は前年並みの売上であったが、今月は前年を10%ほど下回っている。	

	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国内の受注量に大きな変化はないが、海外向けにおいて受注量が減少している地域がある。また、円高水準で推移しているため、海外向けの採算に影響が出てきている。
	電気機械器具製造業（企画担当）	取引先の様子	・モバイル電子機器の生産量が鈍化傾向にある。
	広告業協会（役員）	それ以外	・大型小売店は、この時期にボーナスセールやクリアランスセールなどのバーゲンセールを実施するのが恒例であるが、今年は盛り上がり欠けている様子である。マスメディア各社も、7月中旬以降は引き合いが少ないと嘆いている。また、折込広告に至っては、相当厳しい状況である。
	コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・出力機器関連の消耗品の注文が緩やかに減少している。
	悪くなっている	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き ・3月までは良かった販売量が4月からだんだんと悪くなっており、現在では前年比5%マイナスとなっている。また、売上は前年比8%マイナスとなっている。
雇用関連	良くなっている	-	-
(東北)	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	それ以外 ・受注量の前年比が2けたの増加となっている。また、新規登録者も計画通りに増えていることで、案件への引当と決定の割合も増加している。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き ・大きな変動はなく、採用難の状況に変化はみられていない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き ・国体に向けた人手確保を背景に、宿泊業、飲食サービス業の新規求人数が伸びている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子 ・来春卒業予定の大学生に対する採用活動を継続している。景気が悪い状態であれば、目標に満たなくても仕方がないと採用活動を打ち切るが、現在は採用目標に到達していない企業は、目標達成まで採用活動を継続している。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き ・企業からの求人が減少傾向にある。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き ・求人数は変わらず堅調に推移しており、求職者の登録数も好調であるため、企業が募集をする案件数も多くなってきている。このような状態はここ1年ほど継続している。
		アウトソーシング企業（社員）	それ以外 ・特に大きな変化はみられていない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き ・参議院選後は、反動により求人などが多少活発化する傾向があるが、今回はそのような兆候はみられていない。企業は世界的な政情不安や国内経済の不透明さに、先行きへの不安を抱えているとみている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き ・新規求人数は3か月連続で減少しているものの、新規求職者数も引き続き減少しており、景気が良いとはいえない。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子 ・求人数は堅調であるが、これは、労働力人口の減少により応募者が少ないことに起因するものであり、景気の影響とはいえない。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き ・有効求職者は減少しているが、そのなかでも在職求職者は増えている。これは、景気が良くなっていることで、良い会社があったら転職しようという求職者が増えているということではないか。
		職業安定所（職員）	求人数の動き ・新規求人数は前年同月比1%未満の微増となり、月間有効求人数も5%台の増加と、緩やかな増加傾向を示している。前月微増した新規求職者数も今月は減少に転じたため、有効求人倍率は11か月連続で1倍台となっている。求人全数が多い傾向は大きく変わらず、求人からみた景況感に大きな変化はない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き ・新規求人数、有効求人数共に、前年比の減少が続いているが、有効求人倍率は上昇している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き ・求職者数の減少に伴い有効求人倍率は上昇傾向にある。しかし、新規求人数、有効求人数が大幅に増加しているわけではなく、景況感にも大きな変化はみられていない。
		学校就職担当者	求人数の動き ・求人票獲得数は前年同時期と比較して微増状態であり、さほど大きな変化はない。

やや悪く なっている	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・英国のEU離脱問題、参議院選など今後の見通しに 対するけん制の動きからか、採用活動に停滞感があ る。特に派遣ポストはそうした影響を一番に受けてい る。
	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・新規求人数、有効求人数共に、前年同月比が減少し ている。また、建設業、製造業などでは、求人事業所 数は増えているものの、大量求人が減少しており、募 集人数を抑えている企業が多くみられている。
悪く なっている	-	-	-